言語聴覚学科専門

授業科目　言語聴覚障害総合演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	言語
吉岡　豊　他	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

【概要・一般目標：GIO】

総合実習に備えて、コミュニケーションスキルおよび臨床知識を身につける。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．コミュニケーションに熟練する。
2．聴覚機能検査を行う。
3．器質性、機能性構音障害を同定する。
4．高次脳機能障害者を説明する。
5．発声発語・嚥下障害を記述する。
6．失語症を説明する。
7．臨床上のリスクを同定する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーションスキルの向上１	1	
2	コミュニケーションスキルの向上２	1	
3	コミュニケーションスキルの向上３	1	
4	聴覚機能評価について	2	
5	器質性、機能性構音障害について	3	
6	高次脳機能障害について１	4	
7	高次脳機能障害について２	4	
8	発声発語・嚥下障害について１	5	
9	発声発語・嚥下障害者について２	5	
10	発声発語・嚥下障害者について３	5	
11	失語症について１	6	
12	失語症について２	6	
13	失語症について３	6	
14	リスク管理	7	
15	まとめ	1～7	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	他専門科目で指定されているテキストを使用する。			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

演習なので４/５以上の出席を前提とする。

【履修上の留意点】